

平成 27 年度

学校法人九州美容専門学校

自己点検・評価報告書

目次

自己点検 ・ 評価報告書

- 【 基準1 教育理念・目標 】
- 【 基準2 学校運営 】
- 【 基準3 教育活動 】
- 【 基準4 就学成果 】
- 【 基準5 学生支援 】
- 【 基準6 教育環境 】
- 【 基準7 学生の受け入れ募集 】
- 【 基準8 財務 】
- 【 基準9 法令等の遵守 】
- 【 基準10 社会貢献、地域貢献 】

評価項目の達成

自己評価 (適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1)

(1) 教育理念・目標

評価項目	H27 年度 自己評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
② 学校における職業教育の特色は設定しているか	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけがなされているか	4

自己評価
<p>本校は、学校教育法及び美容師法に基づき、美容師として必要な知識及び技能を習得させるとともに、社会人としての教養と近代的な感覚を会得させ、公衆衛生の向上に寄与できる美容師の養成を目的とする。（学則第1条）</p> <p>また、創立95年の日本屈指の歴史と伝統を兼ね備えた美容専門学校として、専門性の高い4つのコースで、幅広いフィールドで活躍できるスタイリストの育成を目標にしている。</p> <p>その根底には「歴史と伝統が築き上げた人のつながり」を財産とした実践的な教育がある。</p> <p>学校の特色については、パンフレット・HP・DMで広く公表すると共に、体験入学及び保護者説明会の開催等により周知・告知に努めている。</p>

(2) 学校運営

評価項目	H27年度 自己評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確に具現化したり、有効な機能化を図っているか	4
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
⑤ 教育・財務等の組織整備など意思決定システムは、整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

自己評価
<p>毎年3月に事業計画を策定し、学校運営、教育活動、就職活動、広報活動等の運営方針を定めている。</p> <p>具体的な指導内容、行事を年間スケジュールに位置づけ、数値目標等を詳細に掲げ、その執行体制を確保するための研修計画、教職員配置、役割分担等を明示している。</p> <p>近年の美容トレンドや技術のめまぐるしい変化に合わせた柔軟な対応、課題・問題の早期解決に努めている。</p> <p>平成24年に学校法人化を行ったことにより、財務の整備、人事、給与に関する規定等が整備された。</p> <p>情報システム化については、学籍簿等の履修システムの導入がスムーズに行われ機能している。</p> <p>携帯電話の発達を考慮し、平成26年4月より携帯サイトの構築を行いHPと共に様々な情報発信ができています。</p> <p>HPは、お知らせで行事等の告知を行い、ブログで行事や授業・検定・コンテスト等の内容をより分かりやすく伝えている。タイムリーな情報発信を行うことにより、学校の魅力を多くの人に知ってもらう効果がある。</p> <p>専修学校設置基準におけるコンプライアンスは、常に遵守しているところであるが、業界・地域社会を交えたコンプライアンスについては今後の検討課題である。</p> <p>また、情報公開についてはHPを活用し、保護者や卒業生、企業へ向け情報発信を行っている。</p>

(3) 教育活動

評価項目	H27年度 自己評価
① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像等や業界のニーズを踏まえた学科の終業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編集されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発は実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携を考慮したカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価に係る評価体制の確率、及び実施はなされているか	3
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
⑭ 教員の能力開発のための研修等が行われているか	4

自己評価
<p>カリキュラムの編成は教育課程編成委員会の意見を活用し、学校内で行っている。</p> <p>企業の意見・要望を直接反映させる委員会における意見を、平成27年度のカリキュラム編成から、積極的に取り入れた。</p> <p>2年間という限られた期間で資格の取得及び人材育成を実施するための体系的でより効果的なカリキュラム編成を行っている。</p> <p>成績評価・進級卒業条件等は、学則で明記している。</p> <p>資格取得については、美容師国家試験の合格を最重要課題としている。全学生受験のAFT色彩検定3級・サービス接遇検定3級では、全国平均を上回ることを目標に努力させている。</p> <p>また、各コースごとに検定試験があり、資格取得と同時に力量の向上を図っている。具体的内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップスタイリストコース：SASSOON スクールシップ教育プログラムによる指導、フォトコンテスト作品提出 現役美容師のカラー講習（JHCA：日本ヘアカラー協会加入サロン） ・メイク・ネイルコース：シュウウエムラ教育プログラム終了ディプロマ、IME 検定準3級。 JNA ネイリスト技能検定2級・3級・ ジェルネイル初級検定・認定講師によるジェルネイル講習

・ブライダルコース : ABC 協会ブライダルプランナー検定 2 級。
 山野流着装初・中伝許状、奥伝許状

・アイラッシュデザイナーコース : JLA 協会ジュニアアイデザイナー検定等
 各協会の認定校として、職員の認定講師資格取得・指導力の向上のための研修を強化している。

また、各コースとも目標とする資格取得を目指しながら、企業との協力により最新技術の実習・演習を行っている。
 成績評価・進級卒業条件等は、学則で明記している。

その他、教員・職員研修については、技術研修に止まらず、階層別・目的別研修を実施している。

今後は、これら研修の体系化と教育研修規定の整備が課題である。

(4) 学修成果

評価項目	H27 年度 自己評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

自己評価
<p>就職率については、関連企業の協力や学校内部でのキャリア教育の充実により、本校の実績は過去数十年にわたり就職希望者の 100%である。</p> <p>各種資格取得、特に美容師国家試験の完全取得が、大切な職業要件である。昨年の合格率は、実技 100%、筆記 97.2%であった。100%合格が課題である。</p> <p>退学率は 1 年次の 1 学期に退学者が多くみられる。退学の要因は、学校生活不適應、進路選択の不適合等が多い。この時期を過ぎると退学者は、ごく少数になるが、経済的・精神的な理由による退学者が時折みられる。</p> <p>それぞれの要因に対しての対応策を計画している。</p> <p>在校生の社会活動は十分に把握している。</p> <p>卒業生については、学校への OB 訪問が多く、その際に個別の聞き取りを行う、雑誌・HP 等で活躍している卒業生の情報を収集するなどして追跡を行っている。</p> <p>また、卒業生に講義やレクチャー、コンテストの審査員等の依頼も行い、卒業生のモチベーションの向上と同時に在校生の意欲の高揚も図っている。さらに、学校 HP 等でその成果等を公開するシステム作りを行う。</p>

(5) 学生支援

評価項目	H27年度 自己評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	3
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

自己評価
<p>進路・就職に関する支援体制は、1年次より計画的に実施できている。</p> <p>卒業後、美容師を断念したり、離職したりする学生が増加する現状を踏まえてキャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育の必要性を感じ、その対策として業界理解セミナー・職種理解セミナー等企業人事担当者・OB・OGを招聘、専門家の講義等を取り入れた職業の特性を学ぶ講義を実施している。</p> <p>1年次4月より「美容師という職業に対するの重用感・必要な考え方・価値観を育むために、先輩美容師の経験に基づいた講義を聞く」体験をさせる。この講義では、様々な役職（オーナー・店長・チーフ・スタイリスト・アシスタント等）の話聞かせることで、夢の構築・目標の立て方・技術習得までの道のり・心の在り方等を学び、美容師としての職業観、人としての成長、自分で将来を切り開こうとする意志の育成など心の教育が喫緊の課題であり、より一層の工夫・開発が課題である。</p> <p>平成26年度の求人数は800件を超え、就職率は平成27年3月末で100%となり、順調に推移している。</p> <p>各種学内説明会については、平成26年度は50件を超える企業様に来校頂き学内で説明会・ヘアショー・選考会を実施して頂いた。</p> <p>キャリアサポート室を整備し、求人票の閲覧、資料の展示をしている。PCを使い、企業検索、資料請求のできる環境を確保している。また、一人一人の個別指導の充実を図り、より丁寧なケアをしている。</p> <p>学生相談については、各担当が、学期ごとに面談を行い、問題の早期発見・早期解決に努めている。学生の動向を全職員で見守り、問題を共有化する体制が整っている。</p> <p>経済的支援については、入学時に特待生推薦・指定校推薦などの学費免除を行う学費支援制度を行っている。また、報奨金制度を設け、学ぶ意欲の向上を目的としている。</p> <p>遠方から進学する学生で、新たに一人暮らしを始める方への就学と生活を支援する制度として支援金を支給している。 (一人暮らし応援制度)</p> <p>健康管理は、毎年の健康診断を実施している。</p> <p>近隣との連携（献血・近隣行事への参加・近隣清掃等）は良好である。</p> <p>保護者については、学期ごとのお知らせにより学校行事の報告や試験結果の送付などを行っている。問題の早期解決を図るため、出欠確認を徹底し、遅刻欠席ゼロ運動を展開している。結果時間数が多い学生、授業態度の怠慢な学生には、保護者面談を実施し、良好な関係を保っている。</p> <p>美容通信科では国家試験合格に向けて、きめ細かい指導を行っている。</p> <p>高校からのインターンシップ制度の受け入れを積極的に行っている。進学情報誌業者を介した出張授業等の活動も行っている。</p>

(6) 教育環境

評価項目	H27年度 自己評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	4

自己評価
<p>教育設備・教室数は十分に整備されている。</p> <p>学内では、サロン現場を想定した相モデルでの実習を行う。</p> <p>インターンシップの実施により、現場、美容室での美容師の仕事の実際を体験させ、職業意識を涵養する。</p> <p>防災については、避難訓練の実施、避難マニュアル等整備し、緊急に対応する体制が整えられている。</p>

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	H27年度 自己評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
③ 学納金は妥当なものとなっているか	4

自己評価
<p>学生募集活動は適正に実施されているが、学生数の増加に向けて更なる工夫改善が必要である。</p> <p>広報担当者の誠意ある募集活動により、高等学校の先生方より信頼されている。より一層の信頼関係を築く努力を行なう。</p> <p>学納金については募集要項に明記している。</p>

(8) 財務

評価項目	H27年度 自己評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

自己評価
<p>法人化に伴い、借入金の整備ができ、財務基盤は安定している。</p> <p>予算計画・収支計画は妥当である。</p> <p>会計監査については適正に実施している。</p> <p>学校教育法の定める財務情報公開について準備を進めている。</p>

(9) 法令等の遵守

評価項目	H27年度 自己評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

自己評価
<p>個人情報保護規定に基づき、個人情報取り扱い規定を整備している。</p> <p>個人情報の取り扱いについては、特に留意している。</p> <p>PCの持ち出しは禁止としている。</p>

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	H27年度 自己評価
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

自己評価
<p>地域貢献としては、地域の献血活動、近隣の清掃活動等を行っている。</p> <p>ボランティア活動は、学生主体の自主組織によるものを行っている。ヘアショーやイベントのモデル、企画運営のスタッフとしてボランティア活動を行うこともある。</p> <p>企業、美容室の美容技術講習会、美容用品商・美容組合の技術講習会、国家試験委員の打ち合わせ研修会等に学校を解放している。</p>